

令和3年度

# ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 表彰式

日時:令和3年12月11日(土)10:00~

会場:福島市 福島テルサ

令和3年度キャッチフレーズ ~ふくしまの 想いを繋ぐ 十七字~

本年度は事業開始から20年となり、県内外から42,953組の応募がありました。その中から「絆部門」「ふるさと部門」それぞれの最優秀賞に選ばれた10組に表彰状が伝達され、南会津域内からも2組が参加しました。表彰式後のワークショップでは、“想い”のつまったステキな作品を披露し、作品づくりのきっかけやエピソードをお話しました。

【絆部門 最優秀賞】南会津町立舘岩小学校  
1年 星 雄太さん・和彦さん(父)

## とうさんの かより大きい さつまいも 「パパ見て」と 芋のすき間に 子の笑顔

(1年:雄太さん)

秋にさつまいもほりをしました。家の畑で、お父さんと妹と僕でほりました。大きなさつまいもが出てきたので、お父さんに見せたら、お父さんの顔より大きくてびっくりしたから「とうさんのかより大きいさつまいも」とかきました。

(父:和彦さん)

数年前より、子供が喜ぶと思い、さつまいもを作り始め、収穫の時は毎年子供と一緒に芋掘りをしています。その時の作品ですが、大きな芋が出るたび「パパ見て、大きいよ！」などとにぎやかな声が聞こえてきます。そんな中、ひときわ大きな鈴なりのさつまいもを持ち上げ呼んでいた時の、芋越しのすき間に見えた子供の笑顔がとても印象的だったので、作品にしました。



【立派に賞状を受け取る雄太さん】



【お父さんと一緒に作品の発表】

【ふるさと部門 最優秀賞】南会津町立田島小学校  
6年 湯田 煌理さん・聡美さん(母)

## 友達と 歩く楽しみ 祇園祭

## 遠き日の しゃんぎりの音 懐かしく

(1年:煌理さん)

祇園祭の楽しい気持ちを書きました。

(母:聡美さん)

今回、ふるさとをテーマに息子と考えた時に思い浮かんだのが、私たちの住む南会津町で毎年7月に開催される「会津田島祇園祭」でした。息子はもちろん、私自身も子供の頃から祇園祭が大好きで、祭りが近づき町の中で“しゃんぎり”が鳴り始めるとワクワクして、祭りの日は朝から晩まで友達と歩きまわり、ポールすくいをしたり大屋台に乗ったりして過ごしました。そんな思い出を懐かしむ気持ちと、ここ2年コロナで中止になってしまい、寂しく思う気持ちを込めてつくりました。



【堂々と賞状を受け取る煌理さん】



【会津田島祇園祭をPR】



【授賞式後の記念撮影 左から2番目(星雄太さん・和彦さん) 右から2番目(湯田煌理さん・聡美さん)】

南会津域内集計

□応募総数

校種	絆部門	ふるさと部門
幼稚園	4	・
小学校	760	152
中学校	459	40
合計	1223	192
総合計	1415	



□掲載作品

<第一次選考 通過作品>

校種	絆部門	ふるさと部門
幼稚園	2	・
小学校	38	8
中学校	22	2
合計	62	10

<第二次選考 通過作品>

校種	絆部門	ふるさと部門
幼稚園	・	・
小学校	2	1
中学校	1	1
合計	3	2

<スマイル賞作品>

校種	絆部門	ふるさと部門
幼稚園	・	・
小学校	40	14
中学校	25	6
合計	65	20



域内の作品をまとめた『南会津域内優秀作品集』を南会津教育事務所HPに掲載しております。「南会津域内 第一次選考通過作品」72点と「南会津域内 審査奨励作品(スマイル賞)」85点が掲載されています。心温まる作品をぜひ御覧ください。